

平成 29 年度第 3 回 亀岡市立病院 経営審議会資料



平成 30 年 2 月 27 日 亀岡市立病院

目 次

施設基準の届出受理状況・・・・・・・・・・・・・・・・	1
市民健康講座等の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・	2
亀岡市立病院 新改革プラン アクションプランの進捗状況	4
機能別、部門別アクションプランと管理責任者のコメント	8
機能別入院、外来の推移	12

施設基準の届出受理状況

受理届出名称	点数・円	算定開始年月日	算定終了年月日
薬剤管理指導料	325・380点/回	平成16年 6月 1日	
ペースメーカー移植術(心筋電極・経静脈電極)及びペースメーカー交換術	15,060・9,520点 4,000点	平成16年 6月 1日	
大動脈バルーンパンピング法（I A B P法）	8,780点(初日) 3,680点(2日以降)	平成16年 6月 1日	
入院時食事療養／生活療養（I）	640円/554円	平成16年 8月 1日	
開放型病院共同指導料	220点/日	平成16年 9月 1日	
重症者等療養環境特別加算	300点(個室)/日 150点(2人部屋)/日	平成16年11月 1日	
麻酔管理料（I）(硬膜外・脊椎/全身麻酔)	200/900点	平成17年 5月 1日	
一般病棟入院基本料 7対1	1,591点/日	平成18年 5月 1日	平成26年 3月 31日 ※10対1へ変更
検体検査管理加算（I）	40点/月	平成20年 4月 1日	
がん性疼痛緩和指導管理料 2	100点/月	平成22年 7月 1日	
C T撮影及びMR I撮影	900・1,330点	平成24年 4月 1日	
輸血管理料Ⅱ	110点	平成24年 4月 1日	
検体検査管理加算（Ⅱ）	100点/月	平成24年 6月 1日	
がん治療連携指導料	300点/月	平成24年12月 1日	
外来化学療法加算 1	1A：820点 1B：670点	平成25年11月 1日	
一般病棟入院基本料 10対1	1,332点/日	平成26年 4月 1日	
感染防止対策加算 2	100点/入院初日	平成26年 6月 1日	
無菌製剤処理料 1、2	1：180点/日 2：40点/日	平成26年10月 1日	
診療録管理体制加算 2	30点/入院初日	平成27年10月 1日	
データ提出加算 1	170点/入院中1回	平成27年10月 1日	
がん患者指導管理料 1、2	1：500点/回 2：200点(6回まで)/回	平成27年11月 1日	
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	450点	平成27年12月 1日	平成29年7月 31日
地域包括ケア病棟入院料 1 及び地域包括ケア入院医療管理料 1	2,558点/日	平成28年 3月 1日	
医療安全対策加算 2	35点/入院初日	平成28年10月 1日	
医療機器安全管理料 1	100点/月	平成28年10月 1日	
持続血糖測定器加算	1,320点	平成29年 2月 1日	
皮下連続式グルコース測定	700点/一連につき	平成29年 2月 1日	
地域包括ケア病棟入院料 看護職員配置加算	150点/日	平成29年 2月 1日	
療養環境加算	25点/日	平成29年 4月 1日	
認知症ケア加算 2	30点(14日以内)/日 10点(15日以上)日	平成29年 4月 1日	
コンタクトレンズ検査料 1	200点/回	平成29年 4月 1日	
小児食物アレルギー負荷検査	1,000点/年2回	平成29年 4月 1日	
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）	200点/180日以内	平成29年 4月 1日	
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）	185点/150日以内	平成29年 4月 1日	
後発医薬品使用体制加算 1	42点/入院初日	平成29年 6月 1日	
がん患者指導管理料 3	200点(6回まで)/回	平成29年 6月 1日	
50対1急性期看護補助体制加算	120点(14日以内)/日	平成29年 9月 1日	
糖尿病透析予防指導管理料	350点/月	平成29年10月 1日	

市民健康講座等の開催状況

平成 29 年 度	平成 29 年 5 月	第 1 回 参加者：29 人 講演：「乳がん」とはどんな病気？よし！検診に行ってみよう」 講師：日本乳がん学会 乳腺専門医 田中 宏樹 検診マンモグラフィー撮影認定 上原 久美 看護師（がん化学療法看護認定） 山田 易余 体験：乳房触診体験、がん検診受付（亀岡市保健センター） 開催場所：亀岡市立病院 ウエルネスホール
	平成 29 年 6 月	第 2 回 参加者：29 人 講演：「乳がん」とはどんな病気？よし！検診に行ってみよう」 講師：日本乳がん学会 乳腺専門医 田中 宏樹 検診マンモグラフィー撮影認定 上原 久美 看護師（がん化学療法看護認定） 山田 易余 体験：乳房触診体験、がん検診受付（亀岡市保健センター） 開催場所：南つつじヶ丘コミュニティーセンター
	平成 29 年 7 月	第 3 回 参加者：45 人 講演：「医療スタッフが教える“コツ”～お薬・家庭用血圧計～」 講師：薬剤師 居村 理紗 臨床工学技士 長尾 泰弘 体験：家庭用血圧計展示、カプセル剤・錠剤、電子版お薬手帳のパンフレットなど 開催場所：亀岡市立病院 ウエルネスホール
	平成 29 年 9 月	平成 29 年度 亀岡市立病院 健康講座 参加者：146 人 講演：「大丈夫ですか？あなたの「腰痛」～皆さんの疑問お答えします～」 講師：整形外科医師 山崎 哲朗 内科部長 木村 史子 麻酔科部長 橋本 朋子 体験：「腰痛体操」 リハビリテーション科 織田 史雄 開催場所：亀岡市役所 市民ホール
	平成 29 年 10 月	第 4 回 参加者：20 人 講演：「医療スタッフが教える“コツ”～お薬・家庭用血圧計～」 講師：薬剤師 居村 理紗 臨床工学技士 長尾 泰弘 体験：家庭用血圧計展示、カプセル剤・錠剤、電子版お薬手帳のパンフレットなど 開催場所：大井生涯学習センター

平成 29 年 度	平成 29 年 11 月	第 5 回 参加者：44 人 講演：「もったいない！ 活かそう検診結果」 講師：臨床検査技師 原 健介 管理栄養士 森 美香 体験：自己血測定、清涼飲料水の糖分比較、体脂肪 1 Kg 展示など 開催場所：亀岡市立病院 ウエルネスホール
	平成 29 年 12 月	第 6 回 参加者：23 人 講演：「もったいない！ 活かそう検診結果」 講師：臨床検査技師 原 健介 管理栄養士 森 美香 体験：自己血測定、清涼飲料水の糖分比較、体脂肪 1 Kg 展示など 開催場所：南つつじヶ丘コミュニティーセンター
	平成 30 年 1 月	第 7 回 参加者：74 人 講演：「Let's try and study together 今日から始めよう！認知症予防！」 講師：認知症看護認定看護師 山下 咲映 作業療法士 樋口 明日花 開催場所：亀岡市立病院 ウエルネスホール
	平成 30 年 2 月	第 8 回 参加者： 人 講演：「Let's try and study together 今日から始めよう！認知症予防！」 講師：認知症看護認定看護師 山下 咲映 作業療法士 樋口 明日花 開催場所：千代川町自治会館

亀岡市立病院 新改革プラン アクションプランの進捗状況

プラン総括(主要な項目を抜粋)

=目標未達成

			実績値				進捗度			
項目	年度	目標値	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
外来患者数(人) (ドック含まず)	27	-	64,227				-			
	28	-	61,776				-			
	29	62,883	13,979	14,384	14,644		22%	23%	23%	
	30	62,543								
	31	62,147								
	32	61,190								
初診患者数(人) (ドック含まず)	27	-	12,325				-			
	28	-	11,694				-			
	29	10,883	2,660	2,919	2,729		24%	27%	25%	
	30	11,043								
	31	11,147								
	32	11,190								
1日あたり外来患者数(人)	27	-	264.5				-			
	28	-	254.2				-			
	29	257	225	232	240		88%	90%	93%	
	30	255								
	31	254								
	32	250								
外来単価(円)	27	-	9,606				-			
	28	-	10,100				-			
	29	9,900	12,030	11,203	11,194		122%	113%	113%	
	30	9,935								
	31	10,019								
	32	10,133								
救急搬送患者数(人)	27	-	511				-			
	28	-	672				-			
	29	546	157	165	149		29%	30%	27%	
	30	588								
	31	630								
	32	672								
救急搬送応需率(%)	27	-	60.6				-			
	28	-	69.8				-			
	29	65.0	69.5	69.0	72.1		107%	106%	111%	
	30	70.0								
	31	75.0								
	32	80.0								
救急・時間外受入件数(件)	27	-	2,290				-			
	28	-	2,236				-			
	29	2,415	469	510	473		19%	21%	20%	
	30	2,530								
	31	2,645								
	32	2,760								
入院患者数(人) (退院患者含む)	27	-	23,530				-			
	28	-	26,269				-			
	29	27,422	7,353	7,176	7,238		27%	26%	26%	
	30	31,437								
	31	32,167								
	32	32,970								
1日あたり入院患者数(人)	27	-	64.3				-			
	28	-	72.0				-			
	29	75	81	78	79		108%	104%	105%	
	30	86								
	31	88								
	32	90								
	うち急性期(人)	27	-				-			
		28	-				-			
		29	67	64	64		118%	113%	113%	
		30	41							
		31	42							
		32	43							
	うち回復期(人) (=地域包括ケア病床)	27	-				-			
		28	-				-			
		29	13	14	15		74%	77%	81%	
		30	45							
		31	46							
		32	47							

※H27.3より地域包括ケア病床10床(H27.3～)、H29.4より20床～稼働

亀岡市立病院 新改革プラン アクションプランの進捗状況

プラン総括(主要な項目を抜粋)

=目標未達成

			実績値				進捗度			
項目	年度	目標値	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
入院単価(円)	27	-	37,415				-			
	28	-	35,229				-			
	29	35,500	35,299	34,872	37,035		99%	98%	104%	
	30	37,563								
	31	37,543								
	32	37,541								
急性期病床利用率(%)	27	-	-				-			
	28	-	-				-			
	29	71.3	84.3	80.3	80.2		118%	113%	113%	
	30	82.0								
	31	84.0								
	32	86.0								
回復期病床利用率(%) (=地域包括ケア病床)	27	-	-				-			
	28	-	-				-			
	29	90.0	66.6	68.9	72.5		74%	77%	81%	
	30	90.0								
	31	92.0								
	32	94.0								
新入院患者数(人)	27	-	1,528				-			
	28	-	1,788				-			
	29	1,724	435	402	414		25%	23%	24%	
	30	1,918								
	31	1,951								
	32	2,000								
急性期病床平均在院日数(日)	27	-	-				-			
	28	-	-				-			
	29	12.7以下	14.4	14.7	14.0		1.7日	2.0日	1.3日	
	30	12.7以下								
	31	12.7以下								
	32	12.0以下								
他院より回復期への患者紹介件数(件)	27	-	-				-			
	28	-	-				-			
	29		4	0	0		4	0	0	
	30									
	31									
	32	280								
紹介率(%)	27	-	20.6				-			
	28	-	25.5				-			
	29	25	30.2	30.0	31.8		121%	120%	127%	
	30	26								
	31	28								
	32	30								
逆紹介率(%)	27	-	35.0				-			
	28	-	44.4				-			
	29	32	50.2	48.9	55.2		157%	153%	173%	
	30	32								
	31	34								
	32	35								
在宅復帰率(%) (地域包括ケア病床)	27	-	-				-			
	28	-	91.3				-			
	29	75	91.4	85.4	92.1		122%	114%	123%	
	30	75								
	31	75								
	32	75								
後発薬使用割合(%)	27	-	-				-			
	28	-	-				-			
	29		74.6	80.0	87.2		107%	114%	125%	
	30									
	31									
	32	70.0								
入院患者満足度(%) とても良い/良いの割合	27	-	90.6				-			
	28	-	85.9				-			
	29		91.0	95.4	83.8		91.0	95.4	83.8	
	30									
	31									
	32									

亀岡市立病院 新改革プラン アクションプランの進捗状況

プラン総括(主要な項目を抜粋)

=目標未達成

			実績値				進捗度					
項目		年度	目標値	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	
医療安全(インシデント・アクシデント)報告に対する事故レベル3以上の発生率(%)		27	-	5.2				-				
		28	-	6.4				-				
		29		3.4	7.3	6.3		3.4	7.3	6.3		
		30										
		31										
		32										
全手術件数(件)		27	-	947				-				
		28	-	955				-				
		29	1,019	260	205	245		26%	20%	24%		
		30	1,067									
		31	1,116									
		32	1,164									
手術件数(外科件数)		27	-	316				-				
		28	-	239				-				
		29		58	50	51		58	50	51		
		30										
		31										
		32										
手術件数(整形外科件数)		27	-	215				-				
		28	-	233				-				
		29		56	49	62		56	49	62		
		30										
		31										
		32										
手術件数(眼科件数)		27	-	380				-				
		28	-	476				-				
		29		146	106	132		146	106	132		
		30										
		31										
		32										
市民健康講座など開催数(回)		27	-	2				-				
		28	-	3				-				
		29	3	2	2	3	2	67%	67%	100%	67%	
		30	4									
		31	4									
		32	4									
診療別 患者数 外来患者数	内科(人)		27	-	8,198				-			
			28	-	8,107				-			
			29	7,925	1,949	1,923	2,319		25%	24%	29%	
			30	7,925								
			31	7,925								
			32	7,925								
	消化器内科(人)		27	-	8,276				-			
			28	-	7,128				-			
			29	7,536	1,786	1,699	1,654		24%	23%	22%	
			30	7,536								
			31	7,536								
			32	7,536								
	循環器内科(人)		27	-	5,407				-			
			28	-	5,632				-			
			29	5,963	1,305	1,322	1,378		22%	22%	23%	
			30	5,963								
			31	5,963								
			32	5,963								
	小児科(人)		27	-	3,652				-			
			28	-	3,099				-			
			29	3,226	556	703	766		17%	22%	24%	
			30	3,226								
			31	3,226								
			32	3,226								
	外科(人)		27	-	7,771				-			
			28	-	7,380				-			
			29	8,049	1,595	1,894	1,772		20%	24%	22%	
			30	8,049								
			31	8,049								
			32	8,049								

亀岡市立病院 新改革プラン アクションプランの進捗状況

プラン総括(主要な項目を抜粋)

=目標未達成

実績値				進捗度							
項目		年度	目標値	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
	整形外科(人)	27	-	17,792				-			
		28	-	16,078				-			
		29	19,163	3,052	2,974	2,957		16%	16%	15%	
		30	19,163								
		31	19,163								
		32	19,163								
	麻酔科(人)	27	-	1,341				-			
		28	-	1,224				-			
		29	1,408	298	385	373		21%	27%	26%	
		30	1,408								
		31	1,408								
		32	1,408								
	糖尿病内科(人)	27	-	2,537				-			
		28	-	4,162				-			
		29	4,293	1,032	1,119	1,071		24%	26%	25%	
		30	4,293								
		31	4,293								
		32	4,293								
診療別 患者数 入院患者数 (退院患者含む)	内科系(人) (一般内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病内科)	27	-	10,437				-			
		28	-	13,737				-			
		29	14,354	4,348	4,148	3,634		30%	29%	25%	
		30	16,514								
		31	16,895								
		32	17,319								
	外科(人)	27	-	4,641				-			
		28	-	4,776				-			
		29	5,886	1,140	1,112	1,165		19%	19%	20%	
		30	6,658								
		31	6,814								
		32	6,983								
	整形外科(人)	27	-	7,943				-			
		28	-	7,273				-			
		29	7,182	1,713	1,810	2,313		24%	25%	32%	
		30	8,265								
		31	8,458								
		32	8,668								

機能別、部門別アクションプランと管理責任者のコメント

戦略課題	取組	責任担当者 (報告者)	上半期(H1)・下半期(H2)コメント		
新改革 プラン管理	1-(1) 新改革プランにおける 各種施策の 進捗管理	経営企画室	H1	Q1 Q2	上半期を振り返って、外来患者における初診患者数増加計画により、H29年の上半期は目標をクリアしており、外来単価の増加となった。一方、救急搬送患者数や応需率も予定通り進捗している。入院に関しては患者数は増加。その内容は急性期が伸び、回復期はやや下回っている。これは紹介入院が少ない事も要因となっている。これにより新入院患者も目標をやや下回っている。
			H2	Q3 Q4	全体的に目標を上回る業績となっている。これまでの経過より入院紹介の少なさが弱点である。次回改定にも国で協議されている地域包括ケア病床へのサブアキュートとしての評価への対応や当院地域連携のあり方も含め強化体制を考えなければならない。
外来・入院 機能強化	1-(2) 外来・入院 機能強化	医事課	H1	Q1 Q2	外来は患者数を積極的に増やす方針ではないが、6月は4月よりかは増加傾向となった(年度目標の1/4には達していない)。診療単価は¥10,000-超で推移している。入院延べ数は5月に一旦大きく増加したが6月に減少(目標値の1/4はクリアとなる)。ただし、単価の伸びが鈍く診療出来高は入院延べ数に依存する形になっている。外来の第二四半期患者数は、第一期よりも増となった(年度目標の1/4に達せず)。ただし、単価は僅かながらの減少となっている。 入院第二四半期は、目標値の1/4は超えたものの9月に2200台まで減少となったが、7～8月に比べて9月の単価はその減少の影響もあり年度目標値を上回った。
			H2	Q3 Q4	Q3の外来患者数はQ1・Q2よりも増加したが、単価の変化はあまり無くて1.1万円を若干超える金額で横ばいとなっている(年度目標はクリア)。Q3の入院数はQ2よりは増加したが、Q1には届かなかった(25%はクリア)。Q3の単価は各月ともに目標値を上回り、特に12月は3.9万円弱となっている。
人事管理 強化	2-(1) 人材の確保 及び育成、 職員数の適 正化	総務課	H1	Q1 Q2	地域包括ケア病床の増床に伴い、理学療法士・作業療法士計4名を新たに採用した。リハビリテーション科の超勤時間の増は7月より休日におけるリハビリテーションの提供を始めたことによるものである。
			H2	Q3 Q4	医療技術者2名増は退職(12月末)による補充である。
QI指標管理	2-(2) Quality Indicator 実績管理	経営企画室	H1	Q1 Q2	転倒、転落発生率は著しい変化はないが、損傷レベルが高い転倒事故は減少している。特に6月はレベル3以上の転倒は0件である。リスクマネジメント部会や認知症ケアチームでのラウンドを通し、安全環境の強化に努める。 7月のレベル3以上の転倒発生率は2.87で上昇しているが、ごく軽度の頭部打撲(極めてレベル2～1に近いもの)もレベル3で報告されるためである。転倒による重大な損傷は免れている。多職種による活動を継続し安全環境の強化に努める。但し、内視鏡による穿孔/外科的治療に到った事例があった。
			H2	Q3 Q4	高レベルの転倒の発生が抑えられている。アセスメントし早めに対処するケースが増えている。多職種ラウンドが効果を生んでいると推測できる。患者年齢層はますます高くなっているため、安全環境の強化に更なる努力が必要である。
機能性の 向上	2-(3) 手術機能強化、医療機器安全管理	副院長	H1	Q1 Q2	緊急時に備えた人員の配置 24時間待機の実施。半年毎(6、12月)に手術室器械の総点検を行っている。それ以外の月は、集中管理機器を計画に沿って行っている。手術件数の減少は、眼科の件数の変動によるものであり、外科医3名、整形外科医2名、麻酔科医1名の配置から妥当な値である。件数年率5%UPを目指すには何をにおいても整形外科医1名増員が必須条件である。外傷救急対応が増えなければ整形外科手術件数は増加しない。外科は、乳腺、肛門手術を除く消化器外科手術数の増加の為に、消化器内科医の配置が必須要件である。
			H2	Q3 Q4	業績評価では外来患者、入院患者、手術件数など「数」のアップではなく、「質」のアップを目指します。実績数は現実可能な件数とし、より点数の高い手術(癌手術の増加)の比を高めるべきと考えます。腰麻他→全麻へ、開腹→ラパロへなど
病床管理	2-(4) 病床管理の 強化	地域連携室	H1	Q1 Q2	包括ケア病床を10床→20床に増床。病床管理委員会で各科の病床の定数を決定、それぞれの科で病床の効率的な利用を行う。7月8月の急性期病床利用率は80%以上キープしたが、9月は季節性の関連もあるため利用率は低下。包括ケア病床については6割から7割の利用状況。院内での包括病床への転床可能な患者の選定、院外からのレスパイト入院等も受入れて行く。包括病床が空いている場合、短期滞在型の入院で病床利用している。
			H2	Q3 Q4	引き続き病床管理委員会で各科の動向を分析。眼科休診時の病床利用について周知し、病床を有効に利用した。一般病床から包括ケア病床は担当医と相談し、病棟師長間で情報交換を行い転床している。包括ケア病床は、在院日数が30日前後で経過するよう調整している。
救急医療	3-(1) 救急医療・ 院内体制の 強化	副院長	H1	Q1 Q2	毎朝看護部ミーティングで救急ベッドの確保。水曜日の地域包括ケア病床会議で翌週のベッドコントロールを実施。応需率四半期平均69.4% 救急搬送件数157件四半期目標クリア。 医師の高齢化と病院機能が今後回復期や亜急性期に移行するべきなので、救急車の応需率増加をUPさせるのは困難。かかりつけ患者の急変応需や近隣開業医からの依頼を確実に受ける事(これも応需率に算定する)で、目標値を達成する。
			H2	Q3 Q4	上記方針の継続が重要と考える。

機能別、部門別アクションプランと管理責任者のコメント

戦略課題	取組	責任担当者 (報告者)	上半期(H1)・下半期(H2)コメント		
地域連携の強化	3-(2) 地域連携の強化	地域連携室	H1	Q1	紹介率は30%以上をキープし目標をクリアしている。4月より連携員1名減であったが、地域医療機関の訪問を継続。特に紹介検査が増えた。9月の紹介率は分母(初診患者)が少なかったこと、分子(紹介検査・紹介診察の件数)がやや多かったため、35%と高値を算出している。
				Q2	
			H2	Q3	紹介率は30%以上をキープし目標達成できている。包括ケア病床の直接入院は一般床に入ってから包括ケア病床に入っていたケースが多い。
				Q4	
経営基盤の強化	4-(1) 診療科別の原価計算	経営企画室	H1	Q1	原価管理の進捗管理を実施中であるが、6月に循環器内科医師の入院が殆ど内科として診療されたため、内科の集計を見直す必要が出てきた。
				Q2	8月に外部評価委員会、診療会議で第1四半期の新アクションプランの報告を行った。報告時に進捗状況の表現の仕方を指摘され、変更が必要。
			H2	Q3	11月に経営審議会開催。 12月に院内で第2四半期アクションプラン説明会を実施。計画の進捗状況を全職員に周知。総合的に良好であることから継続運用とした。
				Q4	
収入管理強化	4-(2)-① 施設基準取得強化の実施支援	医事課	H1	Q1	施設基準については、『地域包括ケア管理料』を10床⇒20床へ変更、『認知症ケア加算2』及び『小児食物アレルギー負荷検査』、『がん患者指導管理料3』、『後発医薬品使用体制加算1』の新規届出が完了。ただし、施設基準が増えるということは適時調査時の指摘対象項目が増えるということなので、常に基準を満たしているかどうかの管理法の確立が必要。『急性期看護補助体制加算:50対1』を届け出。保険診療委員会がスタート、主に減点査定の分析検討を行うものだが、その範囲は多岐にわたるため改善には各部署の理解協力が必要である。また、並行して点数引き上げの検討も必要である。
				Q2	
			H2	Q3	次期改定の具体的な情報がそろそろ出始めるため、その収集を開始し検討を始める。
				Q4	
	4-(2)-② 査定・返戻、診療報酬改定への取組	医事課	H1	Q1	保険診療委員会の立ち上げを早急に行う。
				Q2	次の段階として蓄積されてきた査定データの分析から如何にして減点を防止するかの方策を検討する必要がある。
	4-(2)-③ 未収金対応強化	医事課	H2	Q3	保険診療委員会が立ち上がり各査定に対して専門的な検討や防止策の協議が出来るようになってきた。
				Q4	
			H1	Q1	当該資料の中での未収金の定義が曖昧である。回収委託業者の選定及び契約を早急に行う。
				Q2	
				Q3	引き続き回収委託業者の選定及び契約を早急に行う。
費用管理強化	4-(3)-① 委託費管理の強化	総務課	H1	Q1	経費の支出は、必要最低限に抑えている。
				Q2	
			H2	Q3	経費の支出は、必要最低限に抑えている。
				Q4	
	4-(3)-② 医薬・材料の管理強化	薬剤科	H1	Q1	後発医薬品使用加算6月より開始。先発医薬品から後発医薬品への変更促進中。50%目標8割達成。項目4Iについては薬剤科に値引き権限無く総務課。
				Q2	薬剤に関しては数値通り。他については薬剤科外のため評価出来ず。
			H2	Q3	後発医薬品の変更も進んでおり使用率は87.2%。80%達成。使用の促進は行われているが、後発加算は取得しているものの、当院は出来高制であり購入率が後発医薬品にかえると利益率が下がるため実際の節減効果はよくないと考える。しかし、廃棄医薬品額、購入費には貢献していると考え。後発医薬品全数が下がっていることから、同じ効果のある薬剤であれば後発医薬品を使用するようにし、ゼロ新の採用を考えていかなければならない。
				Q4	

機能別、部門別アクションプランと管理責任者のコメント

戦略課題	取組	責任担当者 (報告者)	上半期(H1)・下半期(H2)コメント		
マネジメント	5-(1) 内科 A-1	内科	H1	Q1	外来患者数は再診患者が減少し、単価は上昇した。入院患者は内科系常勤医も昨年より増え、その結果患者受け入れ体制が整い、数が増え、結果目標値を上回った。
				Q2	
			H2	Q3	外来患者数は増加し単価は横ばいから減少であるため、より軽症例が増えて入院につながらなかったと考える。学会参加は維持できている。
				Q4	
	5-(1) 消化器内科 A-2	消化器内科	H1	Q1	外来患者数はとくに再診患者が減少し、単価が上がった。入院患者は、受け入れ体制を整えベッドコントロールの強化により数が増えた。
				Q2	
			H2	Q3	消化器入院は治療のための予定入院患者が主であるため12月は患者が減少するものと思われる。
				Q4	
	5-(1) 糖尿病内科 A-3	糖尿病内科	H1	Q1	外来患者数が増えているが、単価が減少する傾向にある。
				Q2	
			H2	Q3	逆紹介しているが外来患者数が超過しており、外来日数を増やす必要あり。
				Q4	
	5-(1) 循環器内科 A-4	循環器内科	H1	Q1	平成28年に循環器内科常勤医が1名増加した事が、内科系入院患者数の増加に反映されてきている。ただし、循環器系疾患については、心臓カテーテルなどの専門的検査・治療を行っておらず、ピュアな循環器内科としての入院患者数は低迷しており、改善すべく取り組んでいるところであるが、難しい課題である。常勤医が増えた事で、これまでの外科系手術患者の術前対診だけでなく、周術期管理にも対応しやすくなったので、今後は他科診療にも良い影響が生じるよう努力していきたい。
				Q2	
			H2	Q3	第3四半期(Q3)を平均した 患者1人1日当たりの診療収入(入院)は44,170となり、29年度目標の44,000を達成した。この第3四半期に福居医長を中心に心臓カテーテル検査2件、ペースメーカー手術2件が行われた。件数はまだ少ないが、再開されたことの意義は大きいと思う。循環器内科としては周辺医療機関との連携を図りつつ、総合内科、内科一般業務に今後も惜しみなく協力しながら、全体のバランスを崩さないよう配慮した上で、わずかでも診療内容を充実させていきたい。
				Q4	
	5-(1) 外科 A-5	外科	H1	Q1	外来については、乳腺の検診も含まれている様なので、数だけではコメント不可。しかし実感としては、新患、紹介ともに軽症もしくは開業医向けのレベルや小外科のものが大半で3名の消化器外科医が常勤している患者水準ではないと考える。入院単価は満足出来るレベルではないが、診療内容からは妥当である。
				Q2	
			H2	Q3	病院が100床以上にならず、地域包括病床が今後増床となるのに入院患者数(しかも手術対応の)が増えるはずがありません。
				Q4	
	5-(1) 整形外科 A-6	整形外科	H1	Q1	平均入院数が安定すると良いと思います。外来一人1日あたりの数値は良いと思います。
				Q2	
			H2	Q3	外来数がやや減少していますが、入院数は良い状態と考えています。
				Q4	
	5-(1) 麻酔科 A-7	麻酔科	H1	Q1	昨年まで院内整形外科からのペインコントロール依頼がそこそこあったが、減少したのがひびいたと思う。
				Q2	
			H2	Q3	他科からの紹介患者に対してはすでに検査はされていることが多く、検査で単価を上げるのは困難。高齢者が多く、点数の高い中枢に近い神経ブロックは施行できないことも多い。そのようなブロックは安静や観察に時間がかかり、結局、人数がこなせないなど、ジレンマはある。
				Q4	

機能別、部門別アクションプランと管理責任者のコメント

戦略課題	取組	責任担当者 (報告者)	上半期(H1)・下半期(H2)コメント		
	5-(1) 小児科 A-8	小児科	H1	Q1	6月から9月までの単価上昇は学校心臓検診の精密検査受診によるもので、季節性の変動です。毎年同じ動きのはずです。ただ、今年は少し患者数が増えました。
				Q2	
			H2	Q3	11月、12月の外来患者数が昨年度より少なくなっていると思いますが、これはインフルエンザワクチン供給不足による影響と考えます。もともと学校心臓検診の精査が秋までで終わってしまうこの時期はインフルエンザワクチン接種のおかげで患者数が増える時期なのでその影響は大きいです。
	5-(1) 薬剤科 A-9	薬剤科長	H1	Q1	6月よりがん患者指導管理料3取得。薬剤管理指導件数も増。注射箋枚数が増えており現在の薬剤科の人数では過剰業務傾向。業務拡張なら人員確保 7月は1名療養休暇取得にてスタッフ人数減。よって調剤業務メインで行った病棟業務、薬剤管理指導件数減。注射処方箋の枚数増加傾向。
				Q2	
			H2	Q3	12月は1名療養休暇取得にてスタッフ人数減。よって調剤業務メインで薬剤科の業務を行ったため病棟薬剤業務、薬剤管理指導件数減。10月、12月は注射箋、処方箋枚数も増加している。12月は年末年始の調剤業務を先に行い、時間的に調剤業務にかかる時間が増えたため薬剤指導件数が減ったと考える。9ヶ月をみても人数が減ることで結果が、薬剤管理指導件数に顕著に現れている。
	5-(1) 臨床検査科 A-10	臨床検査科長	H1	Q1	検体検査クラーク業務開始、費用縮減のため出血時間中止(4月)、HTLV- I 抗体外注化(5月)、試薬価格交渉(主要な3メーカー、6月) HCV抗体試薬変更検討(8月～準備)、 試薬メーカー変更、および試薬価格交渉などで消耗品306品目中70品目で引き下げ(推算費用効果42万円/年間)
				Q2	
			H2	Q3	HCV抗体、PTの試薬変更の検討実施中(試薬単価引き下げ目的)
	5-(1) リハビリテーション科 A-11	リハビリテーション科長	H1	Q1	地域包括ケア病床の患者を出来高のスタッフが継続してみる事が多く、見かけ上、出来高の数字は落ちている。第1四半期の包括5月13.6、6月8.6であった。 第2四半期の包括スタッフ1日一人当たりの単位数は7月10.9、8月12.8、9月10.8であった。出来高のスタッフは7月10.5、8月11.7、9月11であった。夏季休暇期間中であったが落ち込みはなかった。
				Q2	
			H2	Q3	地域包括ケア病床の患者を出来高のスタッフが継続してみる事が多く、見かけ上、出来高の数字は落ちている。表示の仕方に問題がある。実際は、包括10月10.1、11月15、12月16.6であった。出来高のスタッフは10月14.8、11月13.5、12月10.9であった。役割分担ができつつあります。
	5-(1) 放射線技術科 A-12	放射線技術科長	H1	Q1	全体的に件数が減っているが、その中でも特にMRIの減少が目立っている。 9月より土曜日の紹介検査を始めたこともあって、紹介件数が増えている。
				Q2	
			H2	Q3	今回も紹介件数が特にMRIで件数が増えているが、全体の件数が減っている。
	5-(1) 栄養科 A-13	栄養科長	H1	Q1	5月はGW/DM学会があり、透析予防指導が3日少なくなった影響で件数が減少した。6月は紹介患者が多く、外来初回指導が多くなった。 8月は医師・看護師・栄養士の夏季休暇等取得日が分散したため、糖尿病透析予防指導可能日が減少した。
				Q2	
			H2	Q3	糖尿病透析予防指導加算が算定可能となり、指導手順・予約枠の見直しを行った。
				Q4	

機能別病床稼働率の推移

月日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	月間推移
入院患者数の推移	年月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
一般病床 (退院患者含む)	H27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,199	
	H28	1,980	1,863	1,886	1,983	1,960	2,032	2,034	2,040	2,206	2,101	2,116	2,235	
	H29	2,094	2,172	1,874	2,015	2,048	1,844	2,037	1,819	2,048				
地域包括ケア病床 (退院患者含む)	H27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	113	
	H28	101	84	87	121	183	179	151	154	192	195	225	161	
	H29	335	494	384	421	463	385	496	447	391				

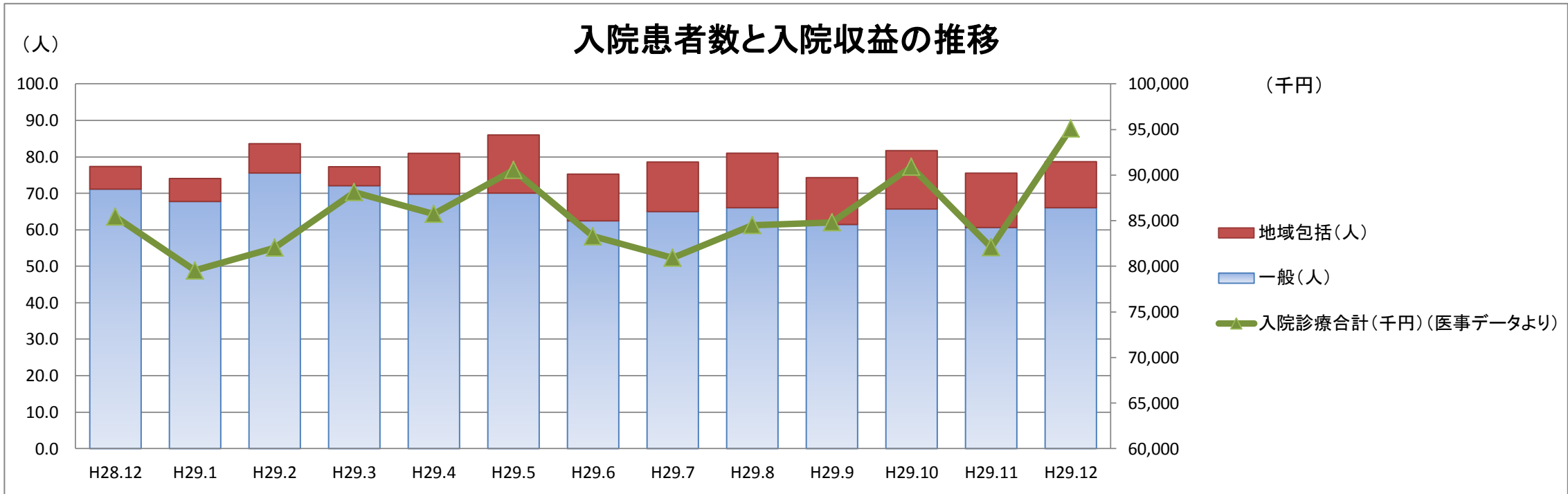
H27.3より地域包括ケア病床10床稼働

H29.4より地域包括ケア病床20床稼働

一般病床と地域包括ケアの関係

<75.0%

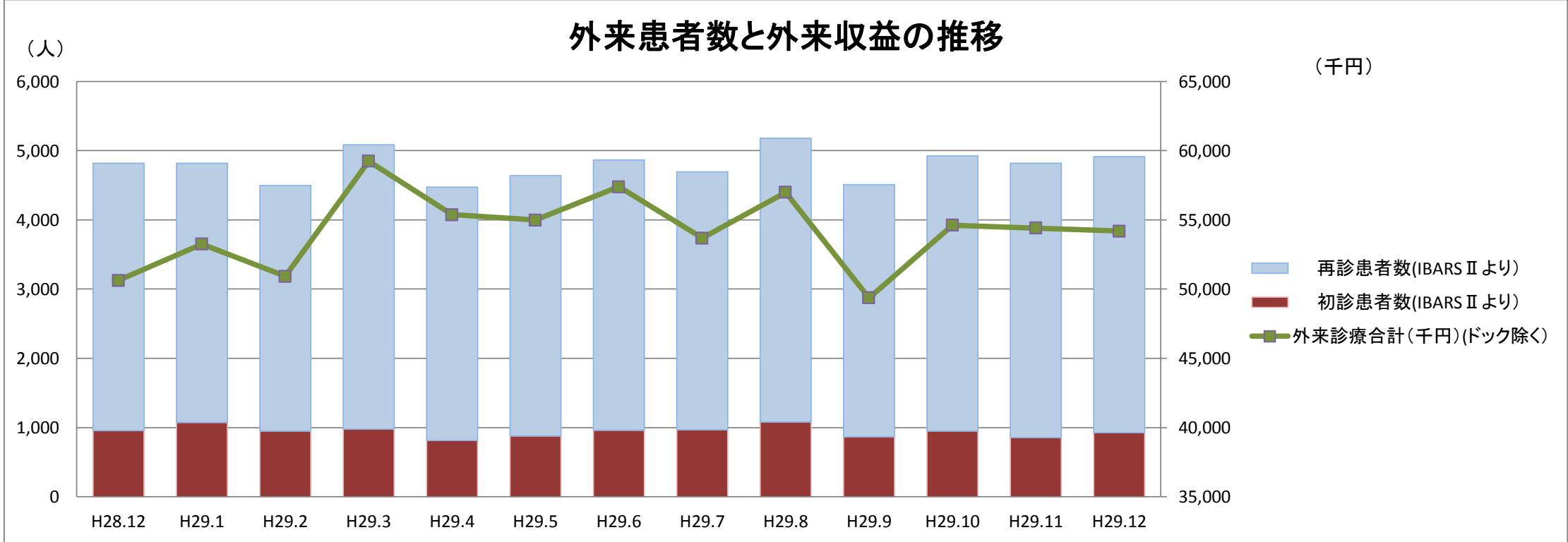
		H28.12	H29.1	H29.2	H29.3	H29.4	H29.5	H29.6	H29.7	H29.8	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	推移
1日平均入院患者数	一般(人)	71.2	67.8	75.6	72.1	69.8	70.1	62.5	65.0	66.1	61.5	65.7	60.6	66.1	
	地域包括(人)	6.2	6.3	8.0	5.2	11.2	15.9	12.8	13.6	14.9	12.8	16.0	14.9	12.6	
	合計	77.4	74.1	83.6	77.3	81.0	86.0	75.3	78.6	81.0	74.3	81.7	75.5	78.7	
入院診療合計(千円)(医事データより)		85,427	79,531	82,030	88,124	85,720	90,547	83,283	80,915	84,513	84,816	90,898	82,083	95,080	
延べ入院患者数		2,398	2,296	2,341	2,396	2,429	2,666	2,258	2,436	2,511	2,229	2,533	2,266	2,439	
1人当たりの診療単価		35,624	34,639	35,041	36,779	35,290	33,964	36,884	33,216	33,657	38,051	35,886	36,224	38,983	
地域包括ケア病床有効利用率		62%	63%	80%	52%	56%	80%	64%	68%	75%	64%	80%	75%	63%	



外来患者数と外来収益の関係

<10,000

	H28.12	H29.1	H29.2	H29.3	H29.4	H29.5	H29.6	H29.7	H29.8	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	推移
延べ患者数(IBARS II の統計より)	4,816	4,820	4,499	5,087	4,473	4,641	4,865	4,696	5,178	4,511	4,927	4,819	4,898	
初診患者数(IBARS II より)	956	1,073	950	983	817	879	962	971	1,083	865	948	856	925	
(全体比)	20%	22%	21%	19%	18%	19%	20%	21%	21%	19%	19%	18%	19%	
再診患者数(IBARS II より)	3,860	3,747	3,549	4,104	3,656	3,762	3,903	3,725	4,095	3,646	3,979	3,963	3,989	
外来診療合計(千円)(ドック除く)	50,627	53,254	50,932	59,243	55,368	54,986	57,384	53,681	56,989	49,362	54,624	54,405	54,185	
1人当たりの診療単価	10,512	11,049	11,321	11,646	12,378	11,848	11,795	11,431	11,006	10,943	11,087	11,290	11,063	



入院＋外来＋ドックの診療合計

<145,000,000円

	H28.12	H29.1	H29.2	H29.3	H29.4	H29.5	H29.6	H29.7	H29.8	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	推移
入外合計(千円)	136,055	132,785	132,962	147,367	141,087	145,533	140,667	134,595	141,502	134,178	145,522	136,488	149,265	
ドック合計(千円)	411	269	458	372	0	97	328	384	390	333	341	377	356	
総計(千円)	136,465	133,054	133,420	147,739	141,087	145,630	140,995	134,980	141,892	134,511	145,863	136,865	149,621	